

## 宇宙開発・宇宙科学に関する学会併設型アウトリーチイベント

## The outreach event in parallel with a conference of space development and space science

庄子 香織 [1]; 吉川 真 [2]; # 寺園 淳也 [3]

Kaori Shohji[1]; Makoto Yoshikawa[2]; # Junya Terazono[3]

[1] 北大・博; [2] JAXA; [3] 会津大

[1] Museum, Hokkaido Univ.; [2] JAXA; [3] Univ. of Aizu

<http://moon.jaxa.jp/ja/events/2007/sapporo/>

2007年10月28日、北海道札幌市の北海道新聞社本社にて、「宇宙を楽しむ 市民シンポジウム」というイベントが開催された。本イベントは、航空宇宙工学の学会である「宇宙科学技術連合講演会」の宇宙教育セッションのアウトリーチイベントとして、日本航空宇宙学会、JAXA 宇宙教育センターなどとの共催で開催されたものである。イベントは学会が開催される前日の日曜日に開催された。

本イベントは、最先端の宇宙開発の情報を、多くの市民の方々に直接語りかけることでより深く知っていただくことを目的として開催した。現在、「はやぶさ」「かぐや」をはじめ、多数の探査機が打ち上げられ、写真や映像などのデータが公開され、科学的に大きな成果が得られている。これらの成果はインターネットや新聞、テレビなどのメディアで伝えられることが多いが、そのプロジェクトに属している科学者、技術者が直接、市民に語りかけるという機会はなかなか少ないと思われる。学会という場は科学者や技術者が集い、互いの取り組みを発表し、議論し合う場である。この機会を利用することにより、市民との直接対話という、普段なかなか行えないことが実現できる。

今回のイベントは、宇宙開発の最新情報を直接聞けるという機会であることから大きな人気を博した。定員120人であったがチケットはほぼ1日でなくなってしまったということが、そのことを端的に伝えている。また、参加者に実施したアンケートの結果などからも、本イベントに対する関心が大変高かったことが伺える。

今回の発表では、こういった、学会に併設したイベントを行う意義について触れるとともに、今回のイベントの概要、実施状況を示す。その上で、アンケートの結果などに基づき、参加者の反応を分析し、このような学会併設型アウトリーチイベントを行う意義や、今後の問題点などについて議論する。